

〈東文研・ASNET共催セミナー〉

歩：識字を求め、部落差別と闘いつづける

'Fu' (pawn, steps, walk): Claiming literacy,
Fighting against Buraku discrimination

山本栄子さんは京都の被差別部落の貧しい家に生まれました。貧困と差別の中で、学ぶ機会を奪われた山本さんは自ら立ち上がって識字教室を始めます。彼女の向学心はそこで留まらず、夜間中学、定時制高校へと通い、69歳で大学に進学します。彼女の人生はまた、京都における戦後の部落解放運動の歴史とも重なります。山本さんは自らの人生を振り返って『歩：識字を求め、部落差別と闘いつづける』（解放出版社、2012年）を出版されました。



この本からは、高名なイデオログたちの陰で見落とされがちな普通の活動家の姿（それを将棋の「歩」にも例えています）が見えてきます。またこれは解放運動をどう自らの生活の中で実践して行ったのかという「私的であることこそが政治的であることthe personal is political」の記録でもあります。

今回は京都から山本栄子さんをお呼びして、日本社会における差別、部落文化、これからのさらなる解放の可能性を話し合いたいと思います。



◆ 日時：2016年5月26日（木）14:00-16:00

◆ 講演者：山本栄子氏（部落解放同盟京都府連合会六区支部女性部副部長）

◆ コメント：池亀彩氏（東京大学 東洋文化研究所 准教授）

◆ 会場：東京大学 本郷キャンパス内 東洋文化研究所3F 大会議室

※ 報告は日本語で行われます。



東京大学
日本・アジアに関する教育研究ネットワーク
Network for Education and Research on Asia

